

# 赤松常子

婦人運動・社会運動に生きた生涯

赤松常子（一八九七・八・一一～一九六五・七・二二）は戦前の総同盟系、社会民衆党系の活動家で、戦後は全織同盟（現UAセンセン）を母体に参議院議員として、また社会運動家として、その生涯を労働運動・婦人運動・社会運動に捧げました。二〇一五年は赤松常子没後五〇年に当たります。これを記念し友愛労働歴史館は企画展「赤松常子―婦人運動・社会運動に生きた生涯―」を開催いたします。



期間 2015年

7月21日(火)～11月30日(月)

## 第1部

### 赤松常子・その人と生涯

— 1897年～1965年 —



1959年の参院選。二子ボ一級車工場前の赤松常子。

赤松常子は明治30年8月11日、山口県・徳応寺で赤松照幢・安子の長女として誕生。大正4年、父とともに被差別部落に住み込み、解放運動に取り組みます。その後、上京して総同盟に入り、また社会民衆党に参加し、労働運動・社会運動に取り組みます。戦後、社会党、総同盟の結成に参加。1947年、参議院議員に当選し、世界連邦建設運動など幅広い活動に取り組みました。1965年7月21日、死去。行年68歳。第1部では婦人運動・社会運動に生きた赤松常子の生涯を、写真や解説パネルで展示・紹介します。

## 第2部

### 婦人解放運動に取り組んだ赤松常子

— 戦前の労働運動・社会運動 —



関東大震災孤児の救済活動に取り組む赤松常子。本所・披服廠跡のテント張り保育園「光の園」

大正14年、招かれて総同盟に入った赤松常子は、岡谷の山一林組争議、野田醤油争議など数多くの労働争議に参加します。また、社会民衆党に参加し、赤松明子（義姉）や阿部静枝（歌人）らと社会民衆婦人同盟を拠点に、婦人参政権獲得運動や母性保護活動などに取り組みます。第2部では赤松常子の戦前の労働運動・婦人運動・社会運動について、総同盟や社会民衆党・社会民衆婦人同盟を中心に展示・解説します。

## 第3部

### 政治家、婦人活動家として生きた

赤松常子 — 戦後の労働運動・社会運動 —



赤松常子が実行委員を務めた第1回全国婦人の集い。1960.4.16～17

赤松常子は戦後、日本社会党の結党や日本労働総同盟の結成に参加し、婦人部長に就任します。1947年、日本社会党から参議院議員に当選し、以後、連続三期当選を果たします。また、常子は全織同盟役員として近江絹糸争議などを闘い抜きます。1960年、民社党結党に参加。同年、第1回全国婦人のつどい（全労青婦・民社党婦人局・全文協）に、翌61年には日本婦人教室の会に参加します。第3部では戦後の労働運動・婦人運動・社会運動に生きた赤松常子について、展示・解説します。

## 第4部

### 赤松常子の短歌、ゆかりの歌人たち

— 与謝野鉄幹・晶子、阿部静枝、宮崎白蓮 —



歌人・与謝野晶子（叔父・与謝野鉄幹の妻）らと赤松常子。昭和12年（左端）

赤松常子は生涯に亘って短歌に親しみ、婦人運動・社会運動の傍ら多くの社会詠を残しています。第4部では赤松常子の短歌を展示・紹介いたします。また、常子ゆかりの歌人らを紹介いたします。近代短歌史にその名を残す与謝野鉄幹と与謝野晶子は、常子の叔母・叔父に当ります。また、社会運動の盟友阿部静枝は「理知の歌人」と呼ばれ、世界連邦運動などで行動を共にした宮崎白蓮（柳原白蓮。社会民衆党・宮崎龍介夫人）は「流転の歌人」と呼ばれた歌詠みでした。